

「打倒ステロイド」弓削琢磨（ユゲ タクマ） 11歳

母親 弓削晴美

2004年4月4日

インターネットでたまたま見たホームページを見て訪ねてみました。もちろん初めは半信半疑・・・あまりに過激で、今までにない医院のHPに圧倒され、行くまでに何人もの人にHPを見せて、「どう思う？」と聞いてみました。でもとりあえず、行ってみよう。

琢磨は、生まれてすぐから、アトピーでした。指の関節など、体中ピシピシ切れて、血がにじんでいました。3ヶ月目に、桶谷母乳マッサージの先生に、鈴木診療所を紹介してもらい、8歳まで通っていました。毎日ザジテンを飲み、アレルギーのある小麦粉、卵、大豆、牛乳、ピーナッツを除去し続けていました。でも人がいっぱい、だんだん予約が取れなかったことがよくあり、私の職場の顧問先の〇〇クリニックが、アトピー外来もあるというので行き出しましたが、メインは小児科のため物足りず、1年半後に、また評判を聞いて岩倉の西川医院に変えました。

そこでは「ステロイドは、使い方を間違わなければ、決して悪くない。」と教えられ、「薄めてあるのは大丈夫です。」と。「濃いステロイドと薄いステロイドと、上手に使い分けたら、害はない。」と言われました。鈴木診療所ではアルメタ軟膏を使っていたので、「そうか、ワセリンで薄めたのは良いのか・・・」と勝手に思っていました。でもやはり、いつまでも症状は同じ・・・治ってきたと思ってステロイドを止めると、またひどくなり、また使い出す・・・の繰り返し。だんだん皮膚は黒くなるし、「やっぱりステロイドから離れたい！」そう思ってた時に、ジンマシンが出来た友人のために皮膚科を検索し、偶然患者さんの手記にアクセスしました。

「これって、偶然じゃない！チャンスかも！」大きくなったからか・・・8年間の除去食か・・・おかげで見た目はアトピーとわからないくらいですが、鼻炎もあるし、花粉症はひどいし、ほっとけばステロイドのお世話になるほど切れてくる。右手の中指の関節がまたボロボロで、〇〇クリニックではリンデロン VG を塗るように言われていて、すぐに治っていましたが、HPを見てから塗らなくなったのでひどくなり、あかぎれのように切れていました。首も象の皮膚のようになり、真っ赤になって切れています。怖いと思ったのは、毎年花粉症がひどく寝れないので、耳鼻科でもらった薬が、どうやらステロイドだったらしく、本当によく効いていましたが、なんの薬なのか説明もなく、ましてステロイドかどうか私たちには知らされずにいたことです。

松本先生は「必ず治ります！」と、手を握ってくれました。「困ったら、電話してくれていい。」と。薬浴用と、煮出して飲む用の漢方薬と、朝晩消毒のネオヨジン液と、患部に塗るエルタシン軟膏、バナンドライシロップをもらいました。「漢方薬がこの子に飲めるのか？薬風呂に1時間も入れるのか？続けられるのか？」と心配でしたが、「私が弱気になっ

たらあかん！」そう自分に言い聞かせました。今まで良いと言われれば病院を転々とし、良いと思ってしたことが悪いことだったとは、悲しい話。赤ちゃんの頃。抱っこ紐で抱っこしていて、私の胸に顔をこすり付けていたのを見て、痒いのだと初めて気がついたときの事、おしゃぶりの先が当たってほっぺが切れていた事、耳たぶが切れた事、いっぱい思い出します。「治ってくれたら、この今の時間も、お金も安いものだわ！」

そうして5ヶ月・・・思ったよりリバウンドは軽かったです。掻き壊しで肘の裏側が腫れて、夜中にバリバリ掻く音で目を覚ます度、これで良かったのかと不安でした。薬浴から上がると、普段よりボリボリ掻いていて、「これって、意味あるの？」と思いました。漢方薬は臭く、息子は鼻をつまんで飲んでいましたが、それも1ヶ月ほどで落ち着いてきました。

現在、汗を掻くと、やはり首などは赤く腫れます。もともと3歳の時に、「立派な花粉症です。」と診断されたように、鼻炎もあるので、まだまだ松本医院には通わないといけません。「5ヶ月もステロイドを使わずに来れたなんて、奇跡のよう!!!耳鼻科の薬を飲まなくて、花粉の季節を過ごせるなんて奇跡のよう!!!」松本医院に来るまで10年間、毎晩、ザジテンかジルテックを飲んでいました。「こんなに続けて、肝臓は大丈夫なの？」といつも心配でした。

松本先生の印象は、HPで思っていたインテリって感じが全くなく・・・すみません。気さくで面白く、子供のまま大きくなったような純粋な方だったので、診察に行くのが楽しく、いつも笑っていられます。

「わしは、世界の松本やで！」と言い切れる豪快さが、安心感を与えてくれます。初めは半信半疑でしたが、一歩踏み出してみて良かったって、今は思えます。保育園や小学校の給食の時、除去食をしていて、どれほど大変だったか・・・「その頃に出会ってたら、もっと楽に治ったのに。」って、ちょっと残念です。昨年12月の11歳の誕生日に、初めてケーキを食べました。もっと早くに先生に出会って、食べさせてあげたかったです。

私はこれから、同じような悩みに苦しんでいる人に、この思いを伝えて行きたいと思います。本当にありがとうございました。そして、もう少しよろしく願いいたします。